

# 会 報

＜第378号＞

次代を築くヒューマンネットワーク  
一般社団法人兵庫県建築会



発行日：平成29年 4月 1日

目次	◎ 70周年記念事業の御礼とご挨拶	副会長 石田 邦夫	・・・	1頁
	◎ 第455回月例会報告 『「旅行会社」に明日はあるか?』	講師 神戸山手大学現代社会学部観光文化学科		
		准教授 山本 健 氏	・・・	2～4頁
	◎ 会員レポート 『歴史、文化、産業遺産を活かした欧州のまちづくり』（第10回）	神鋼不動産（株）常任顧問 川端 宏幸氏	・・・	5～7頁
	◎ お知らせ 会員の異動ほか		・・・	7～9頁
	◎ 広報コーナー 総合資格学院		・・・	10頁

## 創立70周年記念事業のお礼とご挨拶

副会長 石田邦夫  
(創立70周年記念事業推進副委員長)  
(創立70周年記念誌編集委員長)

平成28年度は、一般社団法人兵庫県建築会の創立70周年にあたって、役員の皆様をはじめ多くの会員の協力を得て、多彩な記念事業を実施してまいりました。

10月には兵庫県公館に兵庫県立美術館の蓑豊館長様を講師に迎え、『建築がまちを変える』と題してご講演をいただきました。たいへん示唆に富むお話だったと思います。

次に、1月には井戸敏三兵庫県知事様、久元喜造神戸市長様をはじめ大勢のご来賓をお迎えして記念式典と祝賀会を盛大に挙行することが出来ました。

そして、先般、創立の日の3月15日には、多くの方から寄稿をいただいた70周年記念誌を刊行することができました。どの事業も役員と会員の皆様のご協力のおかげで、何とか成功裏に終わることが出来ましたことに、改めて深い感謝を申し上げる次第です。ありがとうございました。

但し、70周年記念事業がこれで全て終了したわけではなく、今年度の9月から10月にかけてイタリアのフィレンツェに行く海外研修旅行が残

っています。『天井のない美術館のフィレンツェに暮らすようにして、美術館を巡り、伝統工芸の工房見学やトスカーナの小さな街やワイナリーを訪ね、そして美味しい食事を共に楽しむ』がコンセプトの旅です。世界中から大勢の観光客を引き付けるフィレンツェの街に暮らすようにして、歴史、文化、芸術、ファッション、建築そしてワインと食事を体感する、楽しい旅にしたいと考えています。

現在のところ、この旅に22名の参加申込があり、近年に無い参加者数だと思っています。この海外研修も何とか成功裏に終わらせたいと願っています。

最後に、71年目に入ります平成29年度におきましても、兵庫県建築会が70年に亘り造り上げてきたヒューマンネットワークを大切に、新たなネットワークを広げて行き、次の世代へと引き継いでいくため、より一層皆様のお知恵をお借りしたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

フィレンツェ  
の市街地風景  
：ドゥオーモ  
屋上から



## 第455回例会報告 テーマ「旅行会社」に明日はあるか？

講師 山本 健氏  
神戸山手大学現代社会学部  
観光文化学科 准教授



講師：山本 健氏

### はじめに

この画像は、東カリブ海のセント・マーチン島の海水浴場の様子で、飛行機が着陸態勢に入り、その下で遊んでいる親子が大慌てをしている。この島の一大観光スポットになっており、熱風で死者が出たり、けがする人もあるようだ。滑走路が2,400メートルぐらいで、ジャンボでは距離が短く、低高度で進入してくるため、このようになってしまう。KLMのジャンボが週に2便ぐらい飛んでいるが、このときの体感が最高ということで、滞在型でここへこれを見に来る人が結構いる。こういうものが旅行の素材になっており、5日も6日も滞在して、この海岸へ飛行機を見に来る。一つの目的だけでこのようなものができてしまう。旅行業界とはおもしろい世界と知っていただきたい。



セント・マーチン島

### 1 旅行とは

「旅とは、その土地を一時離れて、他の場所へ行くこと」(ウィキペディア)で、「人が交流」することが旅行と理解している。「平和が基本」であり、平

和の中であって初めて成り立つ平和産業と言える。紛争、戦争、飢餓、疾病、天災とは共存しがたい。

去年のトルコのイスタンブールのテロによるドイツ観光客が被害に遭い、たちどころにイスタンブールへは観光客が行かなくなった。

疾病では、去年、一昨年に韓国でのMERSにより、韓国はかなり大ダメージを受けた。神戸では、鳥インフルで有馬温に人っ子一人いない写真が出、大ダメージを受け、その年の7月、8月で、1,500~1,600億円の経済損失があった。

天災では、熊本の震災や国際的には2011年のニュージーランドのクライストチャーチでは邦人が犠牲になった。去年、イタリアでも地震があり、日本、ニュージーランドも同様、火山国で地震が多い

建築会のイタリア旅行計画の皆さんにはドラスチックで、衝撃的かもしれないが、現実も承知いただきたい。

○宿泊者数:49,418万人泊(H28実績観光庁宿泊旅行統計調査)  
9.9万人減 前年比-2.0%

若者が旅行をしなくなった？

#### 【最近の特徴】

- ・自家用車利用が圧倒的
- ・電次に次いでLCCの飛行機利用も増加  
ピーチ・アビエーション、ジェットスター、パンニャ・エア  
春秋航空日本、エアアジア・ジャパン
- ・団体旅行より個人型旅行、バック旅行もやや復活
- ・テーマ、目的重視型旅行(体験型やや横ばい?)
- ・家族・友人・知人とが多く  
夫婦旅行・一人旅の伸びも目立つ
- ・元気なアクティブシニアが、業界を支えている

### 2 国内旅行の現状

宿泊ベースの国内旅行は、4億9,000万人。日本の人口1億3,000万人として、一人3泊前後ぐらいとなるが、把握が難しく、宿泊機関の申告等で集計しており、およその数字である

最近の特徴は、自動車での家族旅行が一番多い。気になるのは、去年は減少傾向となっていること。旅行は、安倍政権による成長戦略の一つだが、国内消費の落込み同様に、旅行も比例して需要が落ちてきている。特に若者の旅行離れが気になるところで、車の購入意欲も減少しているようだ。

少子高齢化、人口減社会となり、それ以上に旅行需要が減っている。現状で、日本を担う若い人たちが、海外に目を向けたり、自分の国のよさを知ることが大事なことで、しっかり旅してもらいたいと思う。

旅行業界では陰りを気にしている。

### 3 海外旅行の現状

○旅行者数:1,711万人 2016年実績(2017年JUNTO資料)

2015年実績:1.621万人前年比5.5%増

目標2,000万人(出国率12%代でGDPから見るとやや低い)

○傾向

- ・円安
  - ・政情不安(名所旧跡、世界遺産での爆発、テロetc)
  - ・グルメ、ショッピングの魅力喪失
  - ・40代、アクティブシニアは依然活発
- 海外旅行においても若者の出国率が年々減少

海外旅行は、昨年は1,700万人と増加したものの、その前年は減少しているため、全体的には余り増加していない。2020年には2,000万人としたいが、円安が影響していると思われる。また、ブランド品やグルメも国内で満たされることから、海外旅行の魅力が薄れたものと考えられている。

やはりこの世界でも「アクティブシニア」が頑張っているが、日本に来るお客さんばかり求めるのではなく、海外にも出かけていただきたい。

### 4 訪日外国人旅行の現状

○旅行者24,039,000人 2016年実績(JUNTO資料)

- ・世界金融基金、リーマンショック、震災、領土等の問題を越え
- 過去最高人数！ 要因としては、

- ①ビザ取扱の緩和:中国、タイ、マレーシア、インドネシア  
インドネシア、フィリピン、ベトナム
- ②円安③消費税免除④LCCの台頭etc

⇒油断大敵！

世界の政情(アジア、中国経済、為替等)の動向チェック！

○成長戦略では？・目標:2020年→4千万人(2千万人)

※急増で目標の前倒しも 2030年→6千万人(3千万人)

- ・欧米、豪州、中東の富裕層、イスラム圏、

GDP(国内総生産)からは、まだまだ伸び期待

訪日旅行者は2,400万人と順調な推移となっている。ビザの緩和、円安、消費税の免除が要因である。

「タックスフリー」と「デューティーフリー」があるが、日本はタックスフリーで消費税の免除である。5,001円以上で全部対象にしたり、同じ界限での購買であれば5,001円以上になれば免税される。

安倍政権の「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」では、2020年、オリンピックの年で4,000万人、2030年は6,000万人を計画されている。永らく「テンミリオン計画」という1,000万人が目標であったが5年遅れでようやく2014年に到達したばかりである。円安、消費税、LCCといっ

た要因での増であり、今後、自分達の努力、対策が必要と考える。

訪日客の国籍では、中国、韓国、台湾が抜群の上位で、地域別では東南アジアから83%。日本のインバウンドを支えているのは、中国を中心とした東南アジアの人達である。

今後の課題は、欧米の富裕層やオーストラリアである。さらに、イスラム圏で、世界で15億か16億人の人口があり、4,000万人を誘致の要素となっている。

### 5 兵庫県内の状況

兵庫県への入込客は、ツーリズム協会のデータで1億3千万となっている。ただ、ルミナリエだけでも400万人あることから、さらに上の数字があるとも考える。

兵庫県の観光は神戸が牽引しているが、年により淡路がよかったり、姫路城の中播磨とか、城崎の但馬が健闘した様子が見える。来県の中心は、近畿、とりわけ兵庫、大阪が圧倒的に多く、遠隔地の東京とか九州からは5%から10%程度で、今後の誘致施策の必要がある。

訪日は、128万3,000人で、全国の2,400万人の6%~6.5%程度で、京都、大阪と比較して、今の2倍は欲しい。

上位3カ国は、やはり中国、韓国、台湾で、兵庫県は昔から韓国からが多い。

### 6 世界遺産について

世界遺産について少し触れておきたい。

○世界で1,052件、165か国(2016年現在)

※日本の世界遺産 20件(文化遺産 16件、自然遺産4件)

○「3種類」に分類される

1、文化遺産:普遍的価値をもつ建築物や遺跡など  
814件

2、自然遺産:普遍的価値をもつ地形や生物多様性  
景観美などを備える地域など  
203件

3、複合遺産:文化と自然の両方について、普遍的  
価値を兼ね備えるもの  
35件

※危機遺産(失われつつある、守りたい遺産)

登録時の環境が維持されないと、抹消されることもある

世界遺産条約制定への発端は、ナイル川上流のアスワンハイダム建設でヌビア遺跡(アブ・シンベル宮殿)の移設のための基金づくりからである。

今、世界で1000余あり、文化遺産と自然遺産と複合遺産に分類される。日本には20あり、イタリアの49と比較し結構多い。

日本の自然遺産は、知床、白神山地、屋久島、そ

して小笠原がある。

世界的には大規模なものが数多くあり、グレート・バリア・リーフは、総延長が約2,600キロと、日本の北海道から沖縄までに相当する。

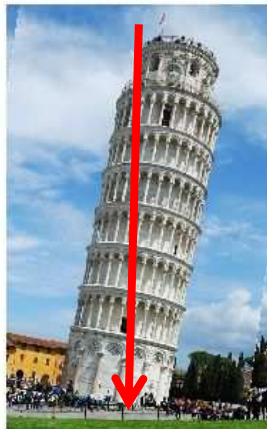
一方、社会問題、世界問題となっているのがイースター島で、地球温暖化により、海岸の浸食で崩壊の危険に晒されている。また、メラネシア、ポリネシアのツバル、ナウル国では、珊瑚礁でできているため、海水の流入で農産物が採れず、オーストラリア等への移住が問題になっている。

建築会のイタリア旅行はフィレンツェだけと聞いているが、日帰りできるので、是非ローマを訪れてもらいたい。「ローマの休日」、「個人授業」の世界で、バチカン市国では、システィーナ礼拝堂のミケランジェロの「最後の審判」は是非見て貰いたい。

ピサの斜塔も少し傾斜が復元されたが、何年持つかがあり、早い方がよさそうだ。



上：アブ・シンベル宮殿  
右：ピサの斜塔



## 7 旅行会社の今後の課題

最後に、旅行会社の今後の課題を話しておきたい。

1万社を有する業界で、絶好調なインバウンドに携わっているのは500~600社程度。他は、国内旅行、海外旅行のみで、その恩恵にあずかされていない。

海外旅行、国内旅行は減少傾向にあり、さらに、これからはネットの活用で、嫌なこと、手間のかかること等を旅行会社に依頼する傾向となり、旅行会社は手間ばかりで利益が薄くなる。

今後の課題として、先ず「B TM」が挙げられ、これは、企業や行政とタイアップし、出張やその旅費計算を請け負うもの。

次に「OTA」で、これは時代に適応してネットにシフトし、1万100社を淘汰してはどうかというもの。

三つ目「DMO」は、観光庁が推進するのが地域の活性化との連携。例えば、震災で東北の観光はダメージを受けたが、自分とこだけ、ホテルだけ、

ドライブインだけでなく、地域が一体となり誘客活動しようとするもの。

「プレミアムフライデー」は、経済界で温度差があるが、1,300億円ぐらいの経済効果が期待されており、東京オリンピックでは、30兆円、35兆円と言われている。

気をつけるべきは、イベント頼みになりすぎているかということ。私は、今後も旅行業界は生き残れると思っているが、業態変化が必要である。売りたい商品を売るのではなく、買っていただける商品をしっかり作ることが必要である。

行政・企業と連携し、社会に企画提案していき、旅会社の関わる領域を大きくするような仕組みを考える必要がある。

## おわりに

旅行というのは、未知への誘い、世界への探訪だと思います。2020年頃、日本でも火星探査衛星の打ち上げ計画があり、既に宇宙旅行への参加申し込みある今日、火星への旅行も夢でなくなるかもしれません。

夢のある世界であり、旅行というものをそのように見ていただきたいと思います。

今日、皆さんとお出会いさせていただいたこと本当に喜んでおります。ありがとうございました。

## Q&A

Q 海外旅行のお勧めは（個人的意見でも）

A イタリア、ニュージーランドが好き。食べ物、気候がいい。

B S日テレ「小さな村の物語」を見ているが、人が暖かい。入社当時に一人で旅したが、その時に温かさを感じ、いまだに好き。



会場風景

(記事中の画像は「Yahoo ホームページ」より引用)

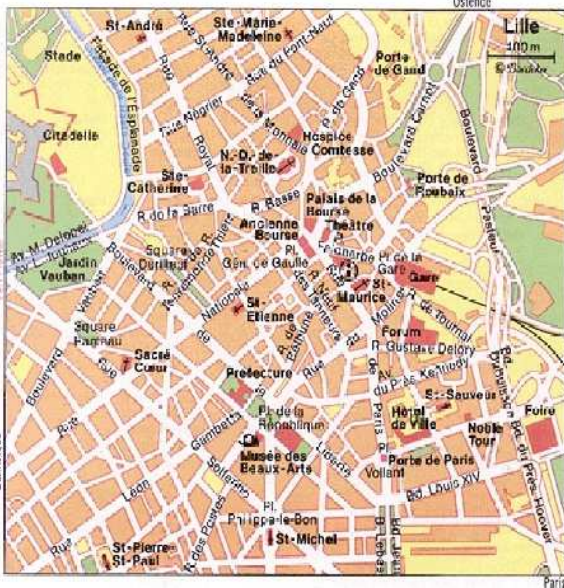
## 会員寄稿

# 『歴史、文化、産業遺産を活かした欧州のまちづくり』 (第10回)

神鋼不動産(株) 常任顧問 川端 宏幸氏

この連載も、最後の訪問地リールとなりました。

リール(フランス、17万人)



▲ リール市街地図、東側が「ユーラリール」

リールは、フランス北端にあり、13世紀頃から商業が栄え、14世紀にはラシャ産業、16世紀には毛織物産業、さらに機械産業を中心として工業都市として栄えた。

リールの調査については、県パリ事務所の取計らいにより、公式訪問となり、ノール県のラバソン総局長以下、ロアール国際局長及びギヨ都市計画局長等の対応を受けた。

リールは、ド・ゴール將軍の生地として知られており、まちの中心地には、ド・ゴール將軍広場というその名を冠した広場がある。その広場を中心に1652年に建てられた旧株式取引所があり、鐘楼や円柱、扉などの装飾には独特なフランドル様式がうかがえ、中庭はアーケードで囲まれている。そのほか、オペラ座や郵便局が立地している。

1970年代の基幹産業の衰退により、一時まちは衰退したが、サービス業を中心に産業構造の転換が進む中で、古い建造物の活用や歴史的な街並みに調和したデザインによる建替えにより商業・業務施設の立地がすすむとともに、ノール県、リール

市においても住環境の改善による居住地の再生に積極的に取り組むことにより、まちなみの保全と併せてまちの賑わいを取り戻している。特に、近年、ベルギー、イギリスに接する地の利を活かし、ブランド店が進出し、周辺都市より多くの人々が押し寄せている。



▲ ド・ゴール將軍広場、右が旧株式取引所



▲ ブランド店が並ぶ市街地



▲ 密集市街地を居住地に再生した例

既成市街地の東部の軍事基地跡に開発された新市街地「ユーラリール」について、ヒアリングを行った。

このプロジェクトは、リールだけでなく、ベルギー、オランダとの関係においても大きなプロジ

エクトである。全体面積は、74.2haで、ユーラリール1は1989年～2000年、ユーラリール2は2000年からの開発である。



▲ 住宅街区の模型 筆者の左がロアール国際局長、右がギヨ都市計画局長

開発地域全体の中央に位置するリールユーロップ駅は、1992年に貨物用の駅からTGV用に改造された。同年のドーバー海峡のトンネル開通をきっかけとして、鉄鋼業等の落ち込みため経済危機にあったリールをイギリス、ベルギーとも連携して救うために、TGVの導入が必要であった。そのため、リール大都市圏のトップを兼ねるリール市長ピエール・モーロワ氏が主宰して、フランスの国鉄が5年をかけてTGVを推進した。



▲ 駅上の業務ビル

開発プロジェクトのコンペにはイメージ図等は使わず、すべてテキストで行った。旧市街地にあるリールランドル駅との間は商業センターとなっており、大型店舗としてカルフルーが outlet している。そのほか1期の土地利用では、居住と業務機能が調和し、かつ緑地を十分確保した開発が行われている。また、駅と環状道路が平行のところには、駅からアプローチ可能な国際会議場を設けている。

2期のプランでは、すでに駅、メトロ、高速道路

が整備済みで、それらを活かしていかにダイナミックに造りかえていくかが大きなテーマとなっている。



▲ 赤線枠(上部)がユーラリール1 中央西側がリールランドル駅 東側にリールユーロップ駅 両駅の間が商業センター 青線枠(下部)がユーラリール2



### ▲ 駅前の大規模店舗「カルフル」

計画全体としては、古いまちと新しいまちとの調和が難しい問題であり、北側に隣接する工業地域とのつながりも課題のひとつである。

建物の高さについては、駅周辺は高く、周辺の戸建街区は低くしている。モダンなデザインの中に、古いリールの建物や工場のスタイルも参考にしている。古いまちに比べ、新しいダイナミズムを持たせ、鉄道、道路と一体となったまちをめざしている。事務所だけでなく、住居も増やし、憩いの場として公園などを増やす考えである。



### ▲ 駅上の業務ビルから旧市街地を望む

今回は、いよいよ最終回です。

引き続きノール県のラバソン総局長等との質疑応答をお送りします。

そして、全体の総括として欧州のまちづくりから学ぶべき点をピックアップします。

終わりに、少し余談を述べさせていただきますが、最後までよろしくお付き合いください。

## お知らせ

### ◎ 正会員の異動（敬称略）

平成28年10月11日付

松本鋼機 株式会社

新 代表取締役社長 藤尾 昌義

前 代表取締役社長 嶋西 高志

平成29年4月1日付

兵庫県住宅供給公社

新 理事長 小南 正雄

前 理事長 大町 勝

（公財）兵庫県住宅建築総合センター

新 理事長 宗野 義潔

前 理事長 小林 利裕

### ◎ 特別会員の異動：4月1日付

（3月30日までの届出分）

#### 《兵庫県県土整備部関係》（敬称略）

まちづくり部長 小南 正雄 退職

→住宅供給公社 理事長へ（正会員）

←水埜 浩（神戸県民センター長）

県土企画局長 衣笠 達也 退会

→兵庫県まちづくり技術センター副理事長へ

←成岡 英彦（中播磨県民センター室長）

まちづくり局長 奥原 崇

→住宅建築局長へ

←出野上 聡（公営住宅課長）

住宅建築局長 福本 豊 退会

→丹波県民局長へ

←奥原 崇（まちづくり局長）

県土企画局総務課長 大谷 俊洋 退会

→議会事務局次長へ

←前田 正志（総務課参事）

まちづくり局都市政策課長 薮本 和法

→住宅政策課長へ

←西谷 一盛（住宅政策課長）

同 都市政策課景観形成室長 林 倫子

→豊岡土木事務所まちづくり参事へ

←**改編** 田野 万治郎（公営住宅課副課長）

同 公園緑地課長 塚原 淳

→淡路景観園芸学校副校長へ

←宮崎 貴久（加古川土木事務所・室長）

住宅建築局住宅政策課長 西谷 一盛

→都市政策課長へ

←薮本 和法（都市政策課長）

同 公営住宅課長 出野上 聡

→まちづくり局長へ

←福本 慶浩（豊岡土木事務所

まちづくり参事）

同 住宅管理課長 陰山 晶彦 退会

→企画県民部文書課長

←山田 剛之 (公園緑地課参事)  
同 営繕課長 戸田 隆彦 退職  
→ (公財) 兵庫県住宅建築総合センターへ  
←朝倉 一晃 (川西市都市政策部長)  
同 設備課長 古結 丈司 退職  
←古川 詩朗 (設備課副課長)  
阪神北県民局宝塚土木事務所  
まちづくり参事 柏樹 容子  
→ 都市政策課計画調整参事 (新設)  
←吉田 安弘 (建築指導課副課長)  
東播磨県民局加古川土木事務所  
まちづくり参事 廣島 晃  
→ 企業庁水道課長へ  
←高見 忠良 (光都土木事務所副所長)  
北播磨県民局加東土木事務所  
まちづくり参事 村上 和幸 退職  
←白井 伸幸 (姫路土木事務所参事)  
中播磨県民センター姫路土木事務所  
まちづくり参事 白井伸幸  
→ 加東土木事務所まちづくり参事へ  
←近都 学 (住宅政策課副課長)  
但馬県民局豊岡土木事務所  
まちづくり参事 福本 慶浩  
→ 公営住宅課長へ  
←林 倫子 (都市政策課観形成室長)

#### 《兵庫県関係団体》

(公財) 兵庫県まちづくり技術センター  
理事長 田中 稔 退職  
←安倍 茂 (兵庫県園芸・公園協会  
理事長)  
常務理事 松本 正利 退職  
←坪田 勝幸 (光都土木事務所所長)  
(公財) 兵庫県園芸・公園協会  
理事長 安倍 茂  
→ 兵庫県まちづくり技術センターへ  
←竹本 明正 (土地開発公社理事長)  
理事 (国営明石海峡公園管理センター長)  
橘 俊光 退職  
←松下 剛士 (広域防災センター次長  
・三木総合防災公園管理事務所長)

#### 《神戸市》

住宅都市局住宅担当局長 長谷川 達也 退会  
→ こども家庭局長へ

#### 《姫路市》

都市局まちづくり推進部長 藤原 善文 退職  
←三輪 徹 (都市局都市計画課長)

#### 《明石市》

都市整備部 建築室 営繕課  
→ 都市局 住宅・建築室 営繕課へ改編  
課長 藤田 大介 退会  
(政策局都市開発室都市ビジョン担当課長へ)  
←南 敏也 (都市局住宅・建築室長が兼務)

#### 《川西市》

川西市都市政策部長 朝倉 一晃  
→ 兵庫県住宅建築局営繕課長へ  
← 松浦 純 (兵庫県都市政策課副課長)

#### ◎ 行事案内

##### ○ 理事会、役員会の開催

日時 平成29年4月20日(木)  
13時30分～15時30分  
会場 神戸市教育会館 504号室  
議題 ①平成28年度決算について  
②役員を選任他

##### ○ 平成29年度総会及び交流会

日時 平成29年5月23日(火)  
17時から19時30分  
会場 神戸三宮東急REIホテル  
議題 ①平成28年度決算について  
②平成29年度予算について  
③役員を選任他

ご出席をよろしくお願ひします。

#### ◎ 事務局だより

##### ○ 会員の異動

新年度を迎えました。年度末、年度初めは出会いと別れの季節ですが、それぞれの新しい門出を祝したいと思います。

松本鋼機さんの報告が遅くなりましたことお詫び申し上げます。

会員様には、改めまして新年度の会員状況を紹介しますので、その際にはご協力をよろしくお願ひします。

また、兵庫県住宅供給公社、(公財) 兵庫県住宅建築総合センターの理事長に異動がありました。各会員には、永らく当会の運営にご協力をありがとうございました。新任の皆様には、これからのご厚誼よろしくお願ひします。

そして、特別会員につきまして、3月30日現在の届出分を掲載しました。時間の都合もあり、一旦締めさせていただきますが、5月号でその後の届出分を報告しますのでご了承ください。

兵庫県県土整備部まちづくり関係の幹部が大幅に交代となっています。総会でお目にかかれ



ますようお待ち申し上げます。

### ○ 週休2日

前号で週休2日を話題にしましたが、『公共工事「完全週休2日」、工期設定で配慮』の報道がありました。国交省発注工事について、災害復旧工事等を除き工期を長めに設定して休みを取りやすくするとの方針です。工期延長で増加するリース代等の工事費は入札残対応で、既定予算の範囲で実施するようです。限られた予算では止むを得ないことではと思いますが、単年度事業に係るものの早期発注等課題が多くありそうです。何よりも我々に最も関わりのある地方ではどのような取り扱いがなされるか注目されます。

### ○ 花だより

お彼岸の連休に「菜の花の沖」・高田屋嘉兵衛翁記念館を見学してきました。嘉兵衛の出身地、洲本市五色町ウエルネスパークの一角にありますが、その報告は「兵庫津」の歴史散策等と併せてできればと思います。

昨年4月は、南あわじ市・諭鶴羽ダムの桜をお届けしましたが、今回は、先ず、淡路島の玄関にある「花さじき」の開花状況です。如何に淡路と言え、春爛漫の花畑には至らずでしたが、テーマの菜の花は満開となっていました。畑毎に作付けをずらしているようですから、これから順次に楽しめそうです。写真②は、例によって洲本市・武本浩己氏提供による少し前の年の様子です。

今年は暖冬化傾向に反して17年ぶりに寒い3月であったようで、桜の開花も予定より遅くなっているようです。お出かけにあたっては事前確認が無難です。



淡路花さじき：①菜の花（3月上旬～）



同：②ポピー（4月下旬～）

そして、ゴールデンウィークが近づくと、郊外の里山では藤の紫が目立ってきます。個人的な感覚では「最近、富みに」と思われます。竹と同様里山の手入の問題とも思われますが、山の色合いとしてはいいですね。

写真は宍粟市山崎の大歳神社（ダサイジンジャ）の千年藤で、一本の幹から境内を埋め尽くす藤は見事です。（県指定文化財・天然記念物）



大歳神社千年藤（宍粟市・4月下旬～）  
写真：武本浩己氏提供

### 紹介HP

<http://www.nishiharima.jp/cgi-bin/spot/index.cgi?mode=preview&select=051031000146>

最寄りでは神戸市立森林植物園のシャクナゲやヤマツツジ。各地の品種が咲き誇っています。

三田の永沢寺は花菖蒲で有名ですが、牡丹も連休前後は見ごろで、お隣では庭園中ピンクに染まった芝桜園も開園中です。

名所は各地に数多くあります。花の季節をそれぞれにお楽しみください。



### 参 照

[http://kobe.travel.coccan.jp/sanda/eitakuji\\_shoubu.htm](http://kobe.travel.coccan.jp/sanda/eitakuji_shoubu.htm)

事務局：谷 純夫、石井滝実子

電話：078-996-2851

FAX：078-996-2852

Email：[archit-k@axel.ocn.ne.jp](mailto:archit-k@axel.ocn.ne.jp)

# 1 級 ・ 2 級 建 築 士

願書代  
**0**円

**願書** 取り寄せサービス  
実施中!

毎年ご好評をいただいている、**無料**の願書取り寄せサービス。ご友人の分や、会社の分のお取りまとめ等も承ります。当学院が願書をお渡しするので、**入手し忘れ心配無用**。



新入・若手社員の皆さま向け

**無料** ビスネスマナー研修

実施場所：神戸校・姫路校（訪問研修も承ります）

▶日時・内容・実施時間などご相談ください。

お申込み・ご相談は神戸校までお電話、またはメールにて送信ください

神戸校 tel.078-241-1711 mail.kohbe@shikaku.co.jp

QRコードでメールアドレス簡単入力



兵庫県 全国  
合格者占有率

**No.1**

平成28年度 1級建築士 設計製図試験

兵庫県 合格者占有率

兵庫県合格者144名中、  
当学院現役受講生78名

**54.2%**

平成24~28年度(過去5年累計) 1級建築士 設計製図試験

全国 合格者占有率

合格者合計19,562名中、  
当学院受講生10,636名

**54.4%**



※総合資格学院の合格実績には、模範試験のみの受験生、教材購入者、業務の受託提供者、過去受講生は一切含まれておりません。※全国・都道府県合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。<平成28年12月15日現在>



**総合資格学院**

神戸校

兵庫県神戸市中央区雲井通4-2-2 マークラー神戸ビル 3F

TEL.078-241-1711

おかげさまで「1級建築士合格者数日本一」を達成し  
続けています。これからも有資格者の育成を通じて、  
業界の発展に貢献して参ります。

総合資格学院 学院長 岸 隆司



スクールサイト ▶ <http://www.shikaku.co.jp> 総合資格 検索

コーポレートサイト ▶ <http://www.sogoshikaku.co.jp>

Facebook ▶ 「総合資格 fb」で検索!

1級・2級 建築士

構造設計1級建築士

設備設計1級建築士

建築設備士

1級・2級建築施工管理技士

1級・2級土木施工管理技士

1級管工事施工管理技士

宅地建物取引士

インテリアコーディネーター